

コープ商品のプラスチック使用量の削減の取組み、 容器包装に再生プラスチック・植物由来プラスチックを 使用した商品の拡大

2023年8月31日
日本生活協同組合連合会
ブランド戦略本部
サステナビリティ戦略室
サステナビリティ戦略担当
設楽 良昌

本日お話すること

1. 日本生活協同組合連合会(日本生協連)とは
2. プラスチック環境問題とは何か
3. 生協の2030年に向けた環境政策・目標
4. コープ商品「リデュース」
5. コープ商品「リユース」
6. コープ商品「再生プラスチック」
7. コープ商品「植物由来プラスチック」
8. コープ商品包材の環境対応
9. 各地の生協での取り組み事例

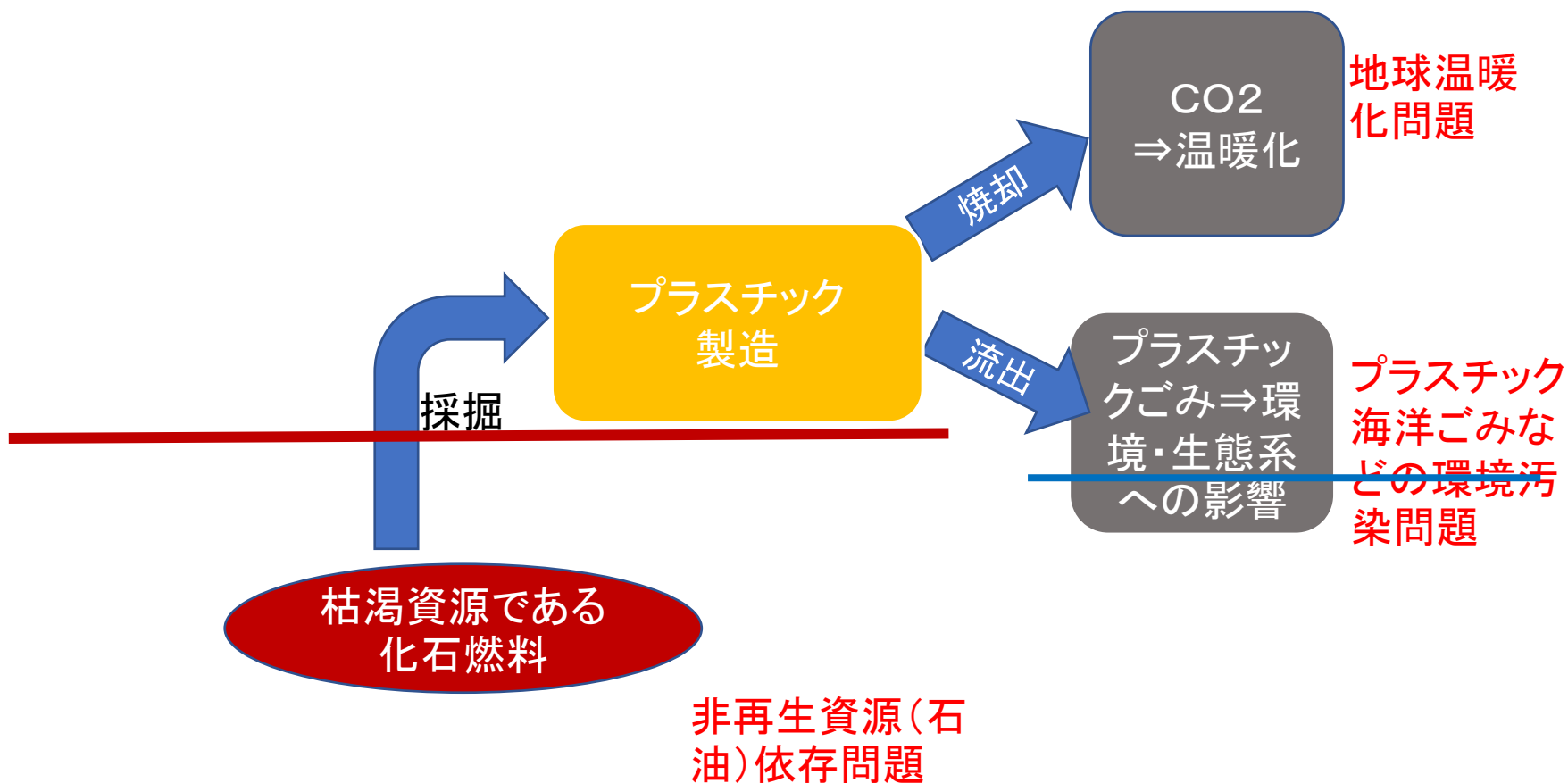
1.日本生活協同組合連合会(日本生協連)とは

CO-OP

- ・1951年3月に設立された、各地の生協や生協連合会が加入する全国連合会です。
- ・コープ商品の開発と会員生協への供給(販売)、会員生協の事業や活動のサポートなどを通して、会員生協の発展を支える役割を果たしています。
- ・また、全国の生協の中央会的役割として、さまざまな団体と交流し、生協への理解を広げ、社会制度の充実に向けた政策提言なども行っています。

2.プラスチック環境問題とは何か (1) 簡単にいうと

大量生産し、大量消費し、大量廃棄する社会

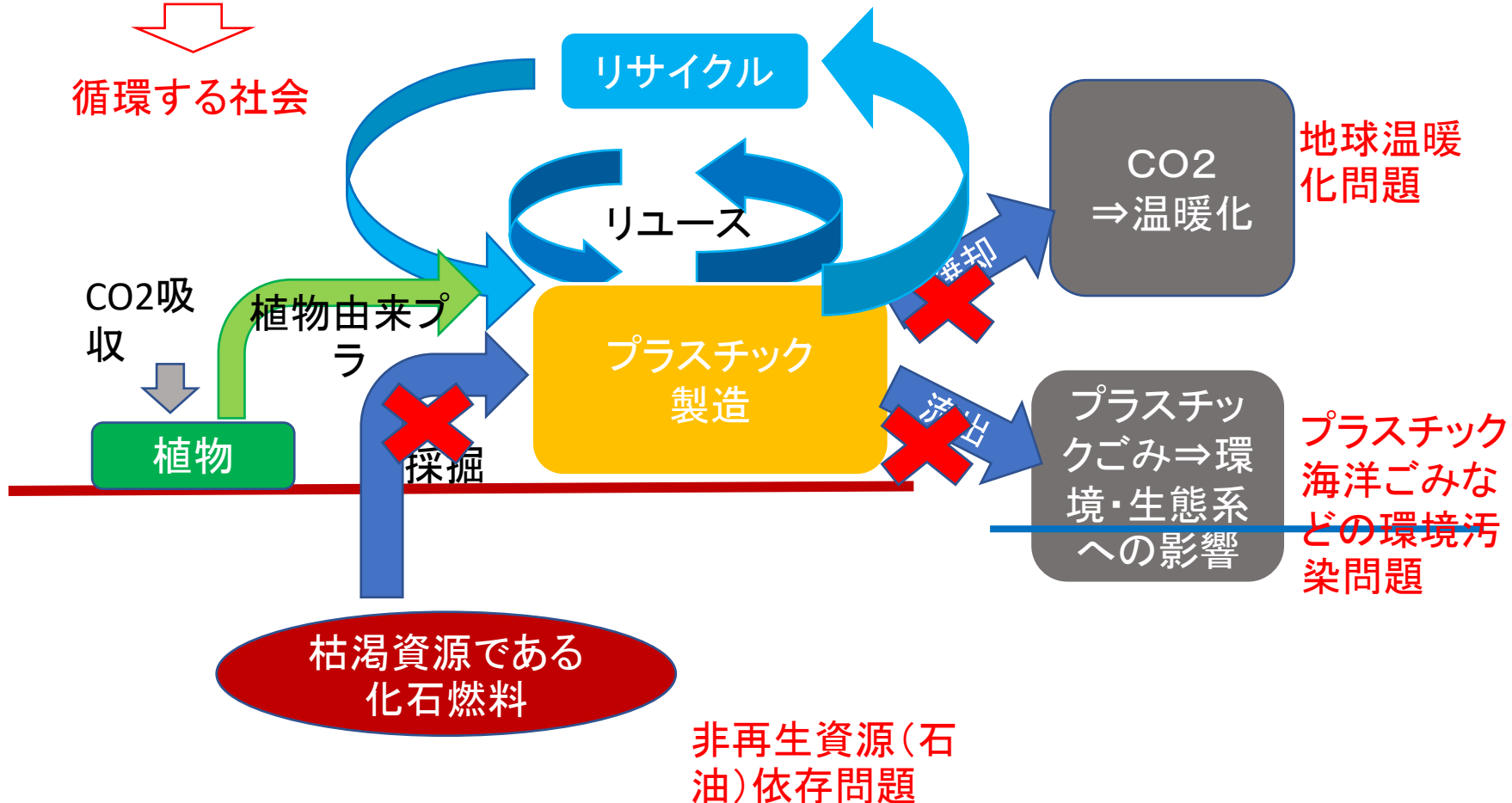


2.プラスチック環境問題とは何か (2) どうすれば解決できるのか

大量生産し、大量消費し、大量廃棄する社会



循環する社会



3. 生協の2030年に向けた環境政策・目標

(1)「生協の2030環境・サステナビリティ政策」

10の行動指針

カテゴリ	10の行動指針
総合施策	① エシカル消費に対応した商品を拡大・普及させ、エシカル消費に共感できる消費者を社会の中に増やしていきます
気候変動対策	② 生協事業のサプライチェーン全体と、組合員の生活における温室効果ガス排出削減に取り組みます ③ 再生可能エネルギーの開発を通して、日本における再エネ導入量を増加させるとともに、持続可能な地域づくりに貢献します
省資源・資源循環	④ 生協事業で使用するプラスチック製容器包装と紙を削減します。また、持続可能な原材料への切り替えを進めます ⑤ 生協事業から排出される容器包装等の回収・リサイクルを、組合員とともに推進します
生物多様性保全と人権尊重	⑥ 生協事業ならびに組合員家庭から生じる食品廃棄物・食品ロスの削減を進めます ⑦ サプライチェーンを通して、人権を尊重し環境に配慮した「責任ある調達」を進めます ⑧ 組合員とともに環境保全活動を推進し、自然共生社会の実現を目指します
生協としての姿勢	⑨ 環境・サステナビリティに関わる諸課題を解決するために、新たな協働の取り組みにチャレンジします ⑩ 生協の環境・サステナビリティに関わる取り組み状況を積極的に公開し、社会との対話を進めます

3. 生協の2030年に向けた環境政策・目標

(1)「生協の2030環境・サステナビリティ政策」 全国の生協で取り組む「2030目標」

全国の生協で取り組む5つの「2030目標」

- **CO2排出量**を2030年に2013年度比で**40%削減**
- 2030年までに**年間発電量4億kWh** (設備容量200MW相当)の**再生可能エネルギー**を開発
- **使い捨てプラスチック製容器包装の使用量を2030年に2018年度比で25%削減**
- **商品カタログに使用する紙使用量を2030年に2021年度比で25%削減**
- **食品廃棄物を2030年に2018年度比で50%削減**

3. 生協の2030年に向けた環境政策・目標 (2) コープ商品「責任ある調達基本方針」 位置づけ

2021年5月、持続可能な社会の実現に向けて全国の生協で推進する「生協の2030環境・サステナビリティ政策」の策定に合わせて、日本生協連は「**コープ商品の2030年目標**」を設定。

サプライチェーンを通じて人権を尊重し、環境に配慮した「責任ある調達」を一層推進するため、各種の方針を改めて整理し、**コープ商品「責任ある調達基本方針」**として公開。

【全国の生協】

生協の2030環境・サステナビリティ政策

10の行動指針

5つの2030目標

【コープ商品】

コープ商品「責任ある調達基本方針」「2030年目標」

3. 生協の2030年に向けた環境政策・目標

(2) コープ商品「責任ある調達基本方針」 プラスチックについて

(6) プラスチック

- ① 「枯渇資源である石油資源使用量削減」「生産や焼却等で生じるCO2排出量の削減」「環境中へのプラスチックごみの流出防止」の観点から、容器包装のプラスチック使用量の削減、再生原料や植物由来原料の活用に取り組みます。
- ② コープ商品開発改善時の包材選定に際して、4つの視点[3R(リデュース・リユース・リサイクル)＋植物由来資材利用]で検討します。エコマークの認定取得を積極的に進めます。
- ③ 会員生協とともに、生協で回収したPETボトル等を包材原料の一部に活用するサイクルの構築に取り組みます。
- ④ プラスチックの削減やリユース、他の素材への代替などに関わる技術動向や社会的な動きを注視し、持続可能で組合員のニーズにも合う取り組みの発展を支援し、取り入れていきます。

3. 生協の2030年に向けた環境政策・目標

(2) コープ商品「責任ある調達基本方針」

リデュース、リユース、リサイクル、バイオマス

Reuse



リユース 繰り返し使用

洗剤・シャンプーなど、ボトル規格に加えた詰替用規格の配置を継続します。



CO-OP セフターENERGY 抗菌・防臭 詰替用



Reduce

リデュース 使用量削減



包材を「省く」(袋内のトレイをなくす)「小さくする」「薄くする」などを、強度・安全性・保存性を考慮しつつ進めます。



CO-OP ただの炭酸水

Recycle



リサイクル 再資源化・再生

回収ペットボトルなど、再生資源を原料とする包材の利用を推進します。エコマーク認定の取得も進めます。



CO-OP ビーフカレー 中辛



Biomass

バイオマス 植物由来素材利用



植物由来プラスチックの利用を推進します。エコマーク認定の取得も進めます。



CO-OP リッチブレンド レギュラーコーヒー



3. 生協の2030年に向けた環境政策・目標 (3) コープ商品の「2030年目標」

	2030年目標
農産	<p>●主要な農産原材料の産地を指定した仕様指定商品および生鮮農産物について、GAPを導入した生産者からの調達構成比を100%とします。海外農産物はGFSI認証スキームのGAP、国内農産物は国際水準GAPとします。</p> <p>●輸入生鮮農産物における有機JAS、レインフォレスト・アライアンス認証品の調達構成比を45%以上とします。</p>
水産	<p>●水産物を主原料とする仕様指定商品および生鮮水産物について、MSC/ASC認証商品の拡大を重点に、GSSIが認定した認証スキームによる認証品の供給額構成比を50%以上とします。</p>
紙・パ ルプ	<p>●コープ商品に使用する紙(製品・容器包装・段ボール材)の100%を再生原料または森林認証品による調達原料とします。</p>
パー ム油	<p>●コープ商品に使用するパーム油の100%を持続可能なパーム油認証品とし、そのうち50%以上を物理的認証油の調達とします。</p>
プラス チック	<p>●容器包材のプラスチックを2016年対比25%削減します。</p> <p>●再生プラスチックと植物由来素材プラスチックの活用を進め、使用率を合計で50%以上とします。</p>
食品 ロス	<p>●コープ商品に由来する食品廃棄物を2018年度比で50%以上削減します。</p>

4. コープ商品「リデュース」 (1) 減量化取り組み事例

いろいろな工夫でプラスチック使用量を減らしています!

CO-OP 烏龍茶 CO-OP 緑茶 CO-OP まろやかほうじ茶 など

ペットボトルを軽量化しました

ハルナプロデュース株式会社製造の飲料9品目のペットボトルを軽量化。2Lボトルは約2g(「おいしい水(谷川山系)」は約13.5g)、525mlボトルは約4g削減します。年間のプラスチック削減量は約273トン[※]になります。

※2021年8月度～2022年7月度の供給実績より試算



※烏龍茶、緑茶は北海道内工場生産分を除く

(▲取り扱い地域: 東北・関東・甲信越)

ボトル軽量化とラベルをハーフラベルへ



年間約
10.3トンの
プラスチック削減

※2021年12月21日～
2022年12月20日の実績による

CO-OP
有機栽培
グリーンレイボスティ 600ml

あわせて再生PET
100%ボトルに

2023年5月には18.0gにさらに軽量化予定!

《有機栽培グリーンレイボスティ》

- ①2022年3月
 - ・内容量・・・500ml⇒600ml
 - ・ボトル・・・26g⇒再生20.5g
 - ・ラベル・・・2.1g⇒0.8g
- ②2023年5月頃
 - ・ボトル・・・再生20.5g⇒再生18.0g

『コープのエシカル』(2023年版)より

4. コープ商品「リデュース」 (2) 紙容器化によるリデュース

紙容器化

濃いトマトジュース 食塩無添加 (濃縮還元)
4902220174171 参考組価(税込)218円

紙パックに変更しました

ペットボトルから紙パックに変更することで、年間約51トン[※]のプラスチックを削減。
※2020年度の供給実績より試算

こちらも紙パックで発売中
ミックスキャロット

彩果菜園フルーティアップル (一食分の野菜)

冷蔵庫用脱臭剤
4902220143931 参考組価(税込)218円

本体が紙容器に

製品本体をプラスチック容器から紙容器へ変更します。
商品1個あたり約28gのプラスチックを削減。年間で約15トン[※]のプラスチック削減となる見込みです。
※2021年度の出荷実績より試算

紙パック入りが登場 **CO-OP 一番搾り キャンーラ油(紙パック)**

紙容器でプラ削減

紙パック入りの商品を開発しました。プラスチック容器のCO・OP一番搾りキャンーラ油1000gと比べて、プラスチック使用量を63%(量目換算)削減しています。
紙パックにはFSC[®]認証紙を使用。透明外装フィルムは使用していません。

注ぐ量を選べる Wキャップ

インボス加工と「ここを持つ」表示入りで持ちやすい

従来からある商品
プラスチック容器

使用後は小さくためる

酸素バリア性と遮光性に優れた素材で賞味期間2年

FSC
www.fsc.org
FSC® N001819
責任ある森林管理のマーク

組合員モニターの声

うちの区では油のプラ容器はリサイクル対象外で燃えるゴミとして出しています。紙パックになることでプラ削減になり、大変良いことだと思います。

紙パックなので捨てやすい点と、少量と大量の使い分けできる注ぎ口が想像以上に便利。

紙パックはプラスチックやビンに比べて保存性に劣る印象がありましたが、賞味期間2年と知って魅力的に思いました。

<試用評価:2022年2月実施>

4902220174133 参考組価(税込)462円

4. コープ商品「リデュース」 (3) 紙容器はFSC認証紙

Q. PETボトルなどを紙バックにすることで、多くのプラスチックが削減できても、その分紙の材料となる森は守られますか？



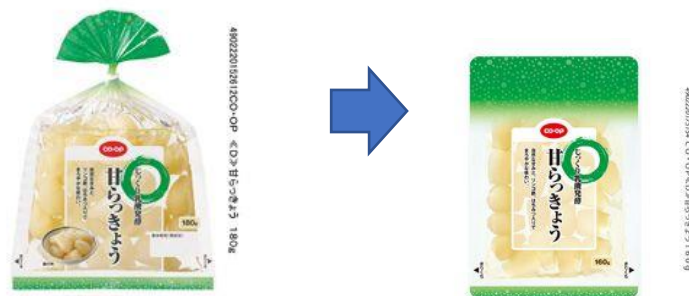
A. PETボトルなどを紙パックに変更すると、新たに紙を使用することになります。
飲料などの紙容器に限らず、2030年度までに「コープ商品に使用する紙(製品・容器包装・段ボール材)の100%を再生原料または森林認証品による調達原料とします」という目標を掲げています。
森林認証紙としては現時点ではFSC[®]認証としています。FSC認証は適切に管理された木材と責任ある調達をさせた製品を確実に消費者に届けることで、森林資源の保全を消費者が支える仕組みです。2022年度時点では既に89%が再生紙またはFSC認証紙となっています。

4. コープ商品「リデュース」 (4) サイズ縮小など

クロージャーをなくして袋サイズ縮小



巾着をやめて袋サイズ縮小



2Pの外袋をなくしてテープ留め

おでんなどの巾着廃止

さつまいもとおでんの一部で、包装形態を巾着からビローへ変更し、袋のサイズを縮小しました。

**1個あたり約1.3g
重量削減**
⇒ 年間約1.6トン[※]の
プラスチックを削減見込み

※2021年12月21日～2022年12月20日実績より試算

5. コープ商品「リユース」 (1) 詰替え・付け替え容器の活用

容器を繰り返し使用するリユースもプラスチックの使用量削減には大きく貢献します。

食品以外の詰替え容器について、生協では早くから取り組んできました。スタンディングパウチが普及する前から詰替え用のピローパックなども販売してきました。

現在では多くの洗剤・シャンプー・リンス・ボディソープなどで詰替え用スタンディングパウチが配置されています。

安全面から詰替えがふさわしくない次亜塩素酸ナトリウムやアルコールを使用したスプレータイプの商品には付替え用が配置されています。

ピロー
パック



ピローパック



付替
え用



5. コープ商品「リユース」 (2) 詰替え用大容量紙容器

生協の独自性を発揮しているのが大型紙容器での詰替え製品

1992年に発売されたバグインカートンという大容量の詰替え商品では、使用後に外側の紙箱と内側のプラスチック製の袋を分離できるようになっていました。

2000年に発売されたカートンボックスでは、紙に薄いプラスチックフィルムを貼り合わせることで、プラスチック使用量を減らした容器としました。カートンボックスでは同じ容量あたりのプラスチック使用量を詰替え用スタンディングパウチと比較して大幅削減しています。

バグイン
カートン



バグインカートン (BIC)

カートンボックス



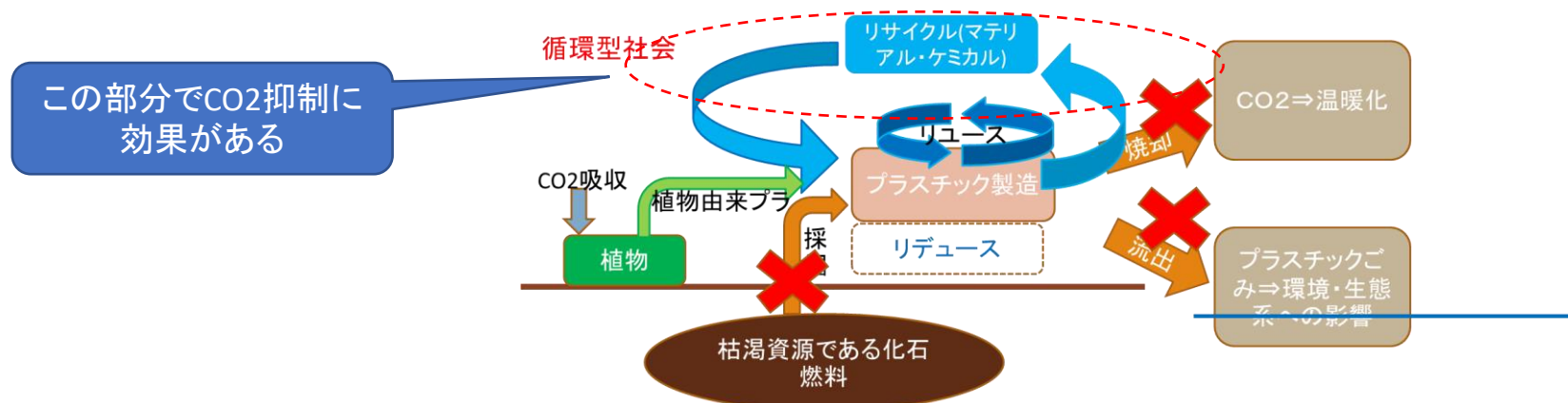
6. コープ商品「再生プラスチック」 (1)なぜ環境負荷を減らせるのか

①使用済みのプラスチックを焼却せずに再度プラスチックに戻しますので、CO₂の排出は抑制されます。

・ただし、再生処理工程でもCO₂の排出はありますので、あくまでも「抑制される」といえます。

②使用済みプラスチックを原料にしますので、枯渇資源の使用抑制につながります。

③確実に回収して再生することで環境中への流出の防止になるという見方もできます。



6. コープ商品「再生プラスチック」 (2)再生PETの安全性

「メカニカルリサイクル」によるPET樹脂の飲料ボトル等の食品容器での使用については、2012年に厚生労働省が出した「食品用器具及び容器包装における再生プラスチック材料の使用に関する食品衛生指針」に基づき、代理汚染試験などを行うことで安全性を確認しています。

- ① **アルカリ洗浄**によりPET樹脂表面を溶かして洗浄するため、表面に付着している汚れは確実に除去されています。
- ② **固相重合工程で減圧・加熱処理**することで、PET樹脂中に入りこんでいる汚染があっても気化除去されます。
- ③ **代理汚染試験**により確実に除去されることが確認されている工程で製造されたものを使用します。
* 代理汚染試験・・・ラインの汚染除去能力を確認するために、あえて汚染した樹脂を流して汚染が除去されることを確認する試験




6. コープ商品「再生プラスチック」 (3)PETボトルへの導入事例



リサイクル
再生PET

再生プラスチックを使用したペットボトルになりました!

これまで「ただの炭酸水シリーズ」は、ボトルの軽量化やラベルの削減を進めてきましたが、2022年6月より使用済みペットボトルをリサイクルした原料を96%使用したボトルに変更しました。

-  ただの炭酸水
-  ラベルのないただの炭酸水
-  ただの炭酸水レモン風味など

年間約**647トン**[※]
の石油由来
プラスチックを削減

※2021年3月21日～2022年3月20日
の出荷実績2,803万本で試算



CO-OP

ただの炭酸水
(天然水使用) 500ml



CO-OP

ラベルのないただの炭酸水
(天然水使用)
500ml×6本パック



CO-OP

ただの炭酸水レモン風味
(天然水使用)500ml

エコマーク商品



<http://goods.jocu.coop/ecomark.pdf>

再生プラスチックを
使用したペットボトル
飲料としてエコマーク
認定を取得

6. コープ商品「再生プラスチック」 (4) 様々な商品パッケージへの導入事例

2023年8月末時点で再生プラスチックをパッケージの一部に使用している
 コープ商品は全国で409品 (再生プラと植物由来プラ双方を使用しているものが一部あります。)



4802200891 CO-OPの再生プラスチックを使用した商品パッケージの一例です。



4802200891 CO-OPの再生プラスチックを使用した商品パッケージの一例です。



4802200897 CO-OPの再生プラスチックを使用した商品パッケージの一例です。



4802200898 CO-OPの再生プラスチックを使用した商品パッケージの一例です。



4802200899 CO-OPの再生プラスチックを使用した商品パッケージの一例です。



4802200900 CO-OPの再生プラスチックを使用した商品パッケージの一例です。



4802200901 CO-OPの再生プラスチックを使用した商品パッケージの一例です。



4802200902 CO-OPの再生プラスチックを使用した商品パッケージの一例です。

6. コープ商品「再生プラスチック」 (5) 生協回収PETボトルをコープ商品包材へ

生協で回収したPETボトルをコープ商品のパッケージの原料の一部として再生利用する取り組みを拡大します！

この取り組みは「CO・OP ふっくら卵のオムライス」などで先行して実施していましたが、2023年3月より「CO・OPビーフカレー」を追加し、その他の商品についても9月より順次拡大していきます。



生協で回収したPETボトルを、この袋の再生プラスチックの一部に使用しています。



6. コープ商品「再生プラスチック」 (5) 生協回収PETボトルをコープ商品包材へ

コープ商品では既に323品で再生PETフィルムをパッケージに使用しており今後も拡大していく予定です。

この再生PETフィルムの原料の一部に、生協で回収したPETボトルを使用していくことを通じて、リサイクルの「その先」を組合員により実感いただけるものとしていきます。

この双方が重要

取り組みが身近で、
環境負荷軽減が実感
できること

取り組みが科学的で、その
成果が数値として社会にア
ピールできること

この代表的
取り組み

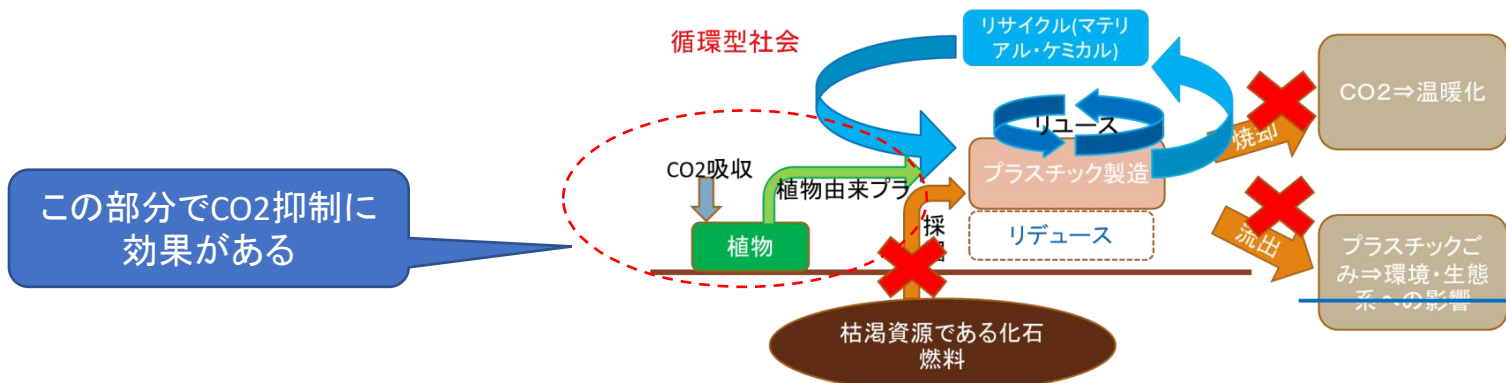
生協で回収したPETボ
トルのコープ商品軟包
材へのリサイクル

これによりPETボトルの回収
リサイクルをはじめとした活
動をより促進する

その結果として、プラスチック
環境問題の改善に寄与する

7. コープ商品「植物由来プラスチック」 (1)なぜ環境負荷を減らせるのか

- ①原料植物の栽培でCO₂を吸収しているので、石油由来プラスチックより製造までの段階でのCO₂排出が抑制されています。
- ・ただし焼却すればCO₂が排出されることは、植物由来プラスチックも石油由来プラスチックも全く同じです。同様にリサイクルすれば、植物由来も石油由来も同様にCO₂の排出を抑制できます。
 - ・製造や輸送にともなうCO₂排出はありますので、「燃やしてもCO₂が増えない」は不正確な表現です。
- ②原料が石油ではないので、枯渇資源の使用抑制にもつながります。



7. コープ商品「植物由来プラスチック」 (2) 植物由来プラスチックでの留意点

- ・植物由来プラスチック導入による環境負荷軽減については、以下のような点に留意する必要があります。
- ・エコマークは以下の①③などに考慮した認定基準となっており、エコマークは以下の①③などに考慮した認定基準となっており、エコマークの取得を進めています。

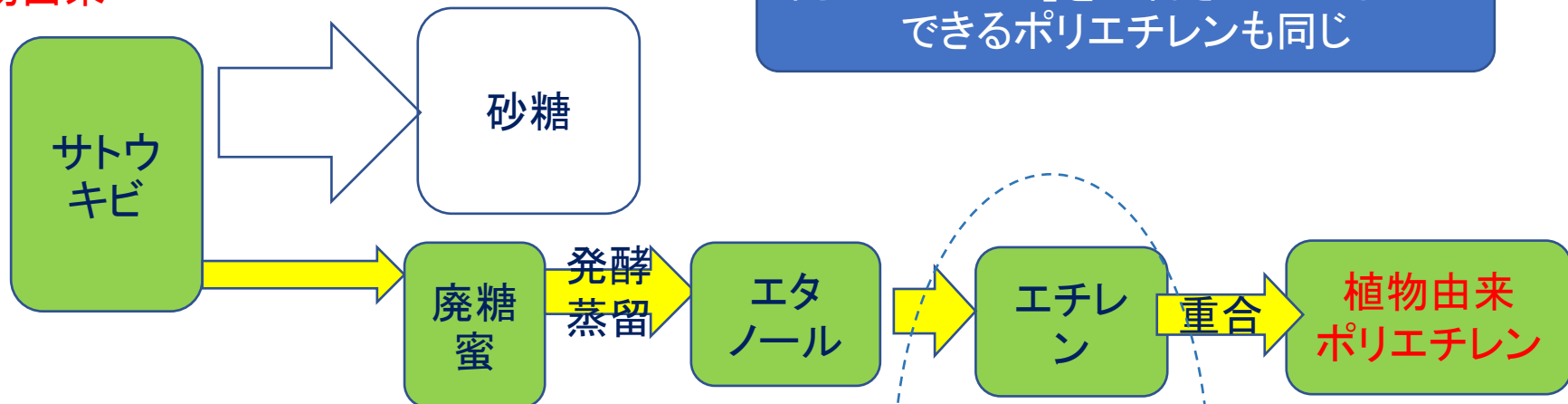
①代替する石油由来プラスチックと比較して、使用する植物由来プラスチックが、**ライフサイクル全体でCO2排出が抑制**されていることを確認することが必要です。

②**食料となりうる植物が原料として使用**されていることには十分に配慮していくことが必要です。現在植物由来PET、植物由来ポリエチレンの原料としてはサトウキビの廃糖蜜を使用しています。

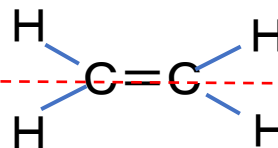
③**原料作物の生産ともなう土地改変や水資源の使用**などによる環境負荷についても配慮していくことが必要です。

7. コープ商品「植物由来プラスチック」 (3) 植物由来ポリエチレンの製造プロセス

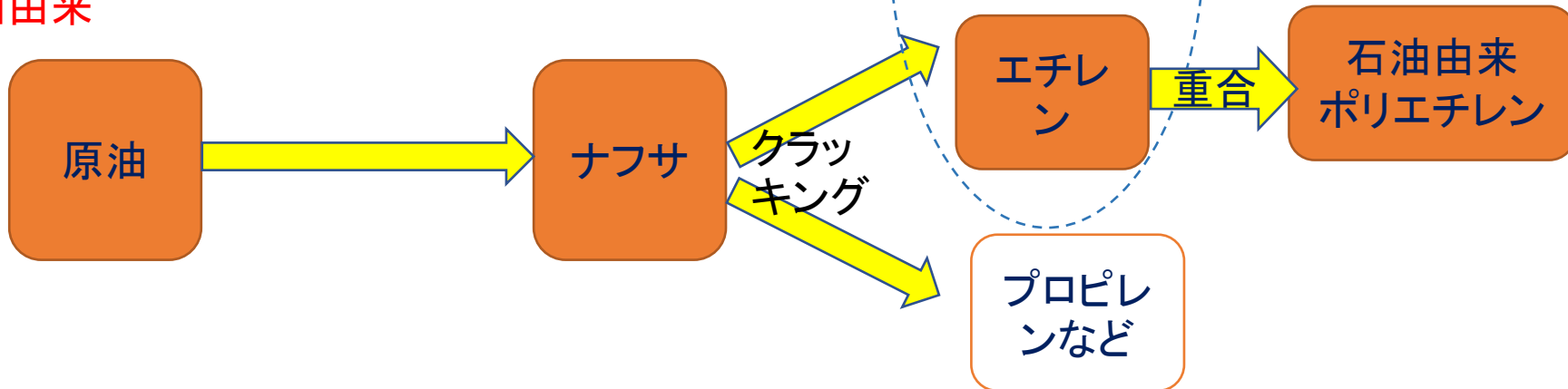
植物由来



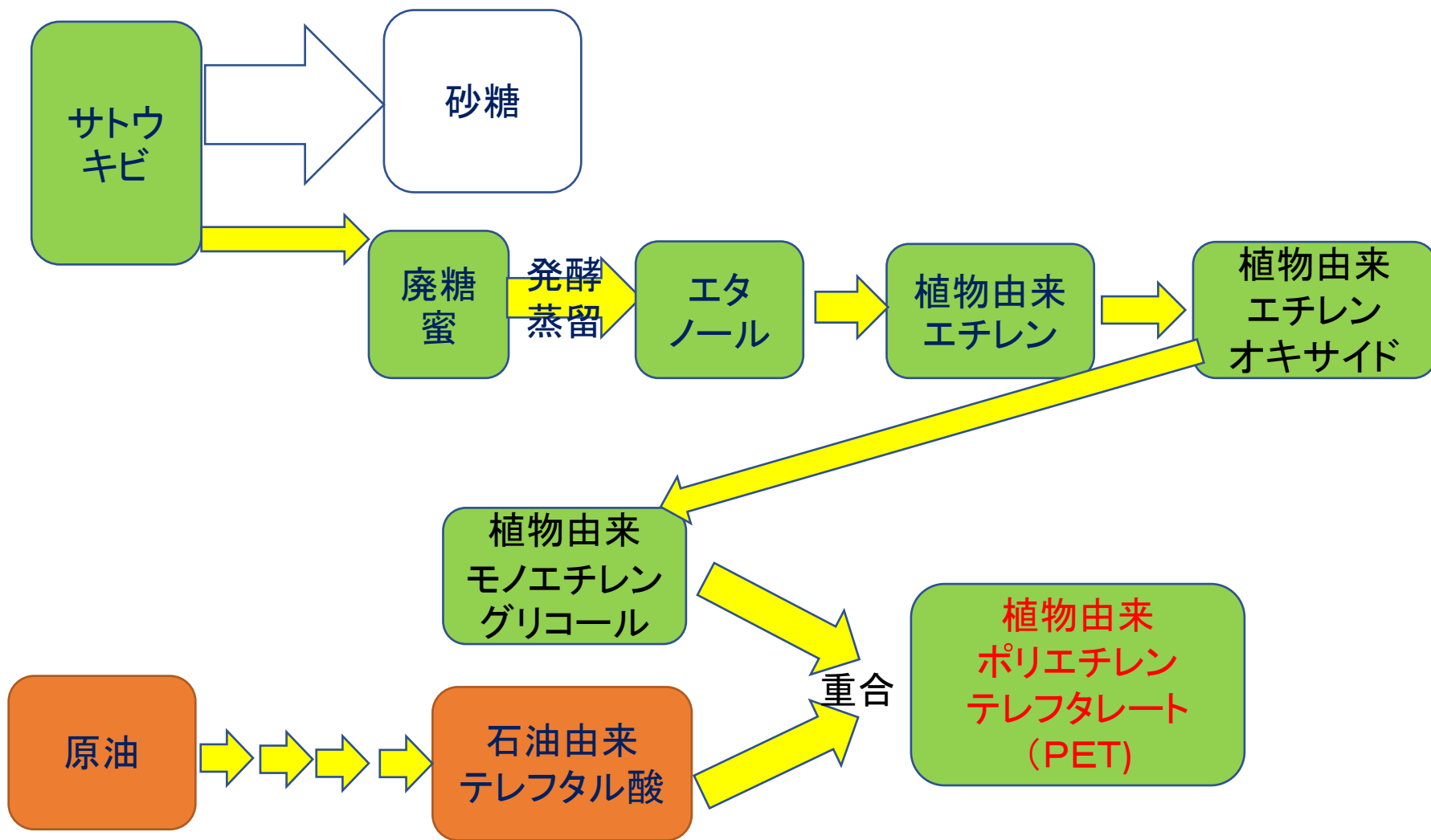
同じ「エチレン」を重合させているので
できるポリエチレンも同じ



石油由来



7. コープ商品「植物由来プラスチック」 (4) 植物由来PETの製造プロセス



7. コープ商品「植物由来プラスチック」 (5)ドレッシングボトルへの導入事例

人気のドレッシングのボトルが変わります!

・「CO-OP 野菜たっぷり和風ドレッシング」 ・「CO-OP 深煎り胡麻ドレッシング」



CO-OP
野菜たっぷり
和風ドレッシング
※5月から順次切り替え



CO-OP
深煎り胡麻
ドレッシング
※6月から順次切り替え

植物由来30%の
ボトルに変更

※500mlだと
6.9gの石油由来
プラスチックの
削減

エコマーク商品



植物由来30%のボトルに変更
したことでエコマーク認定を取得

フィルムが薄くなります

50μm → 45μmへ

※年間約2トンのプラスチック削減

年間51トン[※]
の石油由来
プラスチックを
削減

※植物由来30%ボトルで49トン
+フィルム薄肉化約2トン

※フドーキン製造21品目年間
830万本分で計算

2022年春より植物由来PET使用開始

『コープのエシカル2022』より

7. コープ商品「植物由来プラスチック」 (6) 冷凍とかんづ包材への導入事例



バイオマス
植物由来プラスチック

植物由来プラスチックを包材の一部に使用しました!

とんかつなどのパッケージの一部を、
植物由来プラスチックに変えました。
植物由来プラスチックは原料作物の生育過程で
CO₂を吸収していますので、CO₂の増加を抑制できます。

- CO-OP レンジでサクッとローズとんかつ
- CO-OP (レンジで簡単) 銀座梅林のヒレカツ
- CO-OP 衣サクサクやわらかとんかつなど



CO-OP レンジでサクッと
ローズとんかつ



CO-OP
(レンジで簡単)
銀座梅林のヒレカツ



CO-OP
衣サクサク
やわらかとんかつ

年間約**6.3トン**の石油由来
プラスチックを削減

※2022年度に植物由来プラスチックを使用した、とんかつなど15品の
2021年12月21日～2022年12月20日の実績による

紙トレイは
FSC[®]
認証紙へ

エコマーク商品



<http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf>

(とんかつなど
15品中13品で)
エコマーク
認定を取得

7. コープ商品での取り組み (7)幅広い商品への包材導入事例

2023年8月末時点で植物由来プラスチックをパッケージの一部に使用しているコープ商品は全国で437品（再生プラと植物由来プラ双方を使用しているものが一部あります。）



4902201000 CO-OP<D>オリジナルブレンド コーヒー 10g x 10個入り



4902201001 CO-OP<D>かに真粒の餃子 4個入り



4902201002 CO-OP<D>カレー 中辛



4902201003 CO-OP<D>サラダ フレッシュ野菜 50g



4902201004 CO-OP<D>山形産 鮭 70g



4902201005 CO-OP<D>水餃子 24個入り



4902201006 CO-OP<D>沖縄産 もち 250g



4902201007 CO-OP<D>炊き込みごはん 250g

7. コープ商品「植物由来プラスチック」 (8) マスバランス方式バイオマス割当プラ導入

「CO・OP 味付のり10枚切90枚」包材がバイオマス割当プラスチック使用で初のエコマーク認定を取得



エコマーク商品



<http://goods.jccu.coop/ecomark.pdf>



出典：「プラスチックもサステナブルな未来へ マスバランス方式」（三井化学）

【マスバランス方式とは】

マスバランス方式とは、原料から製品への加工・流通工程において、ある特性を持った原料(例：バイオマス由来原料)がそうでない原料(例：石油由来原料)と混合される場合に、その特性を持った原料の投入量に応じて、製品の一部に対してその特性の割り当てを行う手法のことを指します。

出典：バイオプラスチック導入ロードマップ(2021年1月)(環境省・経済産業省・農林水産省・文部科学省)

7. コープ商品「植物由来プラスチック」 (8) マスバランス方式バイオマス割当プラ導入

【エコマーク認定の経過】

- ①2022年9月、「エコマーク認定基準における「バイオマス由来特性を割り当てたプラスチック」の取扱方針」を策定
- ②2023年2月、「バイオマス由来特性を割り当てたプラスチックを使用したプラスチック製容器包装」認定基準を制定
- ③2023年5月に「CO・OP 味付のり10枚切90枚」が**初認定**

【マスバランス方式のメリット】

既存のプロセスを用いて製造できる

石油由来と全く同じ品質・物性を実現できる

社会全体でのバイオマスプラスチックの使用量を大幅に増やすことが可能

11月に第二弾、4品発売予定



画像は現行品

8. コープ商品包材の環境対応 (1) 包材の調達支給と環境対応

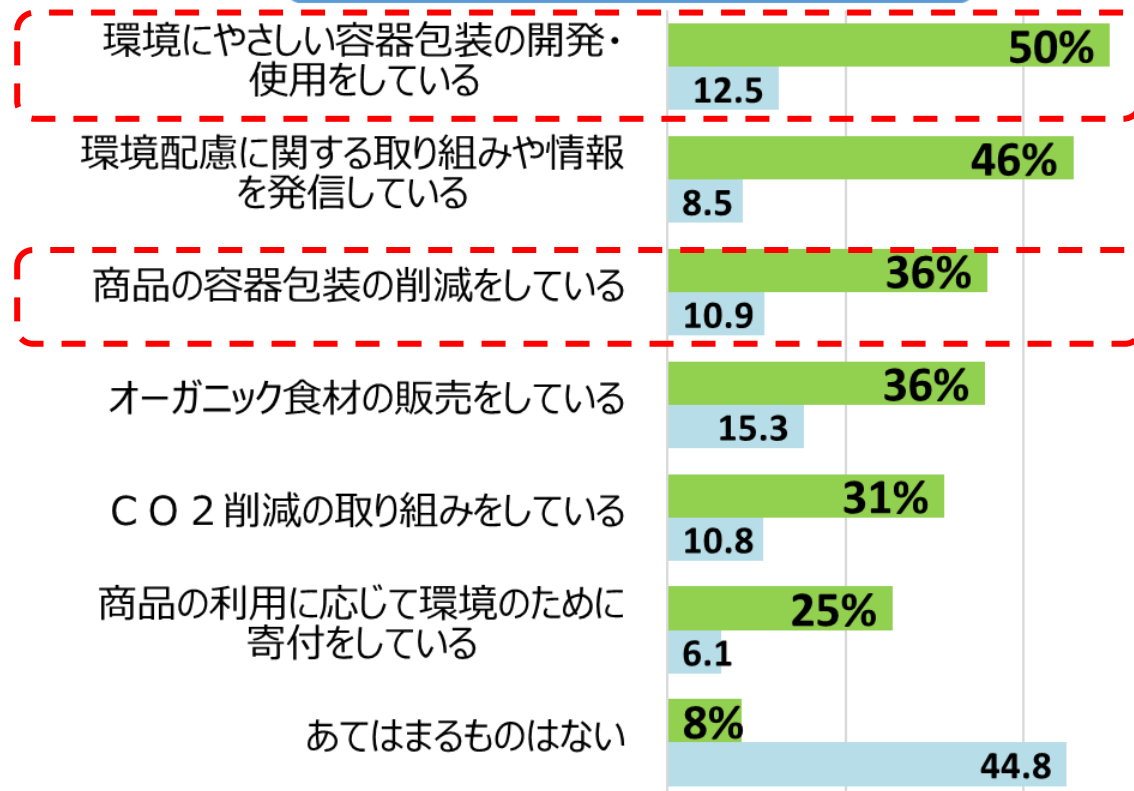
- ・コープ商品の包材を日本生協連が包材メーカーから直接調達する取り組みを2010年から拡大！
- ・この取り組みが再生・植物由来プラスチック導入に効果を発揮！
- ・日本生協連調達包材では再生・植物由来プラスチック比率が、調達品以外よりも4倍近く高い！

	調達品	非調達品	合計
総SKU数	1500	3900	5400
主たる包材プラ	1390	3060	4450
再生・植物由来	537	309	846
再生・植物由来比率	38.6%	10.1%	19.0%

8. コープ商品包材の環境対応 (2) コープ商品の環境配慮イメージ

コープ商品の環境への取り組みイメージとしては、包材での環境配慮が一番目と三番目になっており、生協組合員への浸透がみられる

コープ商品の取り組みイメージ



■ 組合員アンケート ■ 2022年度PBブランド調査(一般アンケート)

(日本生協連くらしと商品に関するインターネットアンケートより、2023年7月実施、回答数6112件)

9. 各地の生協での取り組み事例

(1) リサイクル樹脂で製造した買い物かご

各地の生協では様々なプラスチック環境対応の取り組みがされている。その中でも買い物かごへのリサイクルは、「実感しやすい」という点から取り組み事例が多い。

コープこうべ
プラスチック海洋ごみ
からリサイクル



日本生協連「サステナビリティレポート2023」より

コープデリ連合会
PETボトルキャップから
リサイクル



コープさっぽろ
魚函から
リサイクル



コープさっぽろニュースリリース
より

9.各地の生協での取り組み事例 (2)様々な取り組み

PETボトル回収機の導入



コープさっぽろ



コープこうべ

ならコープ



画像出典:ならコープ
Webサイト
kankyo_matome.pdf
naracoop.or.jp

パルシステム連合会



「地球の未来にまじめなボディソープ」は、プラスチック削減や地域の環境保全、不当労働の排除など、持続可能性をかぎりなく追求し、開発された。

ご清聴ありがとうございました